

伊藤 千春 議員 無会派



問 本市職員の勤務時間管理を

答 業務改善と適正な人員配置へ

問 本市職員の時間外勤務手続きは。

答 総務部長 後日出勤した時、報告書により報告する仕組み。

問 退勤時間の確認方法は。

答 IC カード及びタイムカードにより出退勤を管理。

問 長時間勤務が常態化している部署は。

答 学校教育課や総務部等で、一人あたり月平均 20 ～ 30 時間の時間外勤務。

問 残業時間削減に向けた取組は。

答 全庁一斉定時退庁日の設定と、システム導入による職員の負担軽減を行っている。また、業務量調査等の委託に関する補正予算を計上している。

問 内部通報体制の整備及び通報者の保護体制は。

答 「弥富市職員等公益通報制度実施要綱」を定め、副市長もしくは指示を受けた人事秘書課職員が対応。「秘密保持及び個人情報の保護の徹底」により、通報者に十分配慮している。



問 市制施行 20 周年事業の取組は

答 記念式典事業などで盛り上げる

○市制施行 20 周年事業の取組について、以下を問う。

問 具体的内容は。

答 総務部長 「記念式典事業」「特別事業」※「冠事業」の3つの区分で展開する。

問 目的は。

答 先人たちの功績を称え、市民がこのまちに誇りと愛着を持ち、本市の自然、歴史、文化等を次世代に継承し、未来へと思いを繋ぐことが目的。

問 対象となる市民層・地域は。

答 あらゆる世代の市民は元より、本市に興味・関心のあるすべての人々。

問 充当される財源は。

答 一般財源を基本に、企業版ふるさと納税による寄附も検討。

問 準備状況及びスケジュールの進捗状況は。

答 庁内連絡会議において協議し、動画や啓発資材等の

制作に取り組んでいる。また、市民への冠事業募集を令和7年10月から実施する予定。

問 市民への周知は。

答 啓発資材や各種媒体を活用。

問 市民からの意見・要望の収集は。

答 考えていないが、冠事業としての枠組みを有効に活用してほしい。

問 期待する事業効果は。

答 交流人口や関係人口の拡大を期待する。

※「市制施行 20 周年」という冠表示をして盛り上げる取組。

キャッチフレーズ
「わくわく! ドキドキ!
はたちです やとみ」

▲ 20 周年キャッチフレーズ